

# 能登半島地震で被災されたみなさまに 心よりお見舞い申し上げます。

★長良・岩野田九条の会は、全ての人の命と暮らしを大切にしたい・応援したいという気持ちで、会として『10,000円』を石川県に寄付させていただくこととしました。この会を応援して下さるみなさまのご理解をいただければ幸いです。1日も早く日常が戻ってくることを願います。

★毎日、地震の被害のすさまじさがニュースで流れていますが、北陸は原発が集中しているはずなのに、原発の情報はなかなか出てきませんでした。2週間たってようやく、休止中の志賀原発が想定外のゆれで変圧器の油が大量にもれ、外部電源と繋がる送電線が使えなくなり、別の回線でなんとか冷却機能をたもっているという状況だと言うことが分かりました。東日本大震災で福島第一原発が深刻な放射能事故を起こした時、政府は直ちに影

★しかし、日経新聞は、地震直後こんなコラムを載せました。

2024. 1. 5

## 春秋

既視感のある光景に身震いした。刻々と暮れゆく冬空の下、激しく渦巻いて川を遡る津波、燃え上がる炎、ひっきりなしに鳴る余震警戒のアラーム、避難を叫ぶアナウンス。能登半島の震災を伝えるテレビ映像は日本がどのような国かを年初から私たちに突きつけた。

▼真つ先に頭をよぎったのが原発への不安だった。職業柄、全国にある原発の場所と名前は諳んじている。今回の震源なら東から柏崎刈羽、志賀、敦賀、美浜、大飯、高浜。震度7を記録した石川県志賀町にある原発は長い間、止まっているはず。にしてもなぜ、いつも大地震が起きるところに、原発はたっているのだろうか。

▼そう考えて、この問い自体が間違いであることに気づく。原発の近くに災害がやってくるわけではない。世界の地震の1割が日本で起きるといわれる。列島は地震の巣なのだ。国土はいつどこで大きな揺れに見舞われてもおかしくない。そういう大地の上に、そして海のすぐそばに、私たちは原子炉を抱えて暮らしている。

▼東日本大震災以降、長らく停止していた原発を順次動かしていくと、おととし政治は決断した。東京電力の柏崎刈羽は今年、再稼働に向けてヤマ場を迎える。世界の大国は温暖化対策へ原子力活用に舵を切る。能登の鳴動が伝えた自然の警告を真正面から受け止めて、日本は「地震と原発」の相克を乗り越えねばなるまい。

★今回深刻な被害を受けた珠洲市は、原発建設の計画があったが反対運動が起こり、電力会社が断念したところですよ。もし建設されていたら…！

★それでもなぜ国は原発を手放せないのでしょうか？国民のいのちと引き換えの国策、もうこれ以上続ける理由はないのではないかと！

「岐阜九条の会 岐阜県交流会」を2024年3月31日に開催！

JR岐阜駅 ハートフルスクエアG大研修室で開催 入場無料

講師：日本福祉大学 三宅裕一郎教授に依頼

どなたでもお気軽にご参加できます。お気軽にどうぞ！

# 長良・岩野田 憲法九条の会だより

No190  
2024年  
1月号

事務局連絡先：林  
090-6769-9809



★この会は思想・信条の違いを越えて日本  
国憲法九条を守るための有志による活動